



OPEN
COMPLIANCE
SUMMIT

2022年12月7日 | 横浜

2022 スポンサーシップ

ガイド

目次

Open Compliance Summit について	3
スポンサーになる意義	4
コミュニティが参加する理由	4
数字で見る Open Compliance Summit 2021	5
Open Compliance Summit 2021 参加者の統計データ	6
これまでのスポンサー	7
スポンサーシップ概要	8
スポンサーシップ バンドルとカスタム パッケージ	9

2022年12月7日 | 横浜

Open Compliance Summit について

Open Compliance Summit は、Linux Foundation 企業メンバーと限定された招待者だけが参加できるイベントです。このサミットでは、異なるバックグラウンドを持つさまざまな企業の人々が、中立な環境のもとで以下のような機会を持つことができます。

- コンプライアンスのプロセス、ポリシー、ガイドライン、ツール、オープンソース ガバナンスなどのベストプラクティスについて議論および意見交換を行う。
- 「コンプライアンスプログラムの履行と管理」、および「サプライチェーンを介したコンプライアンス管理」に関する認識を向上させる。
- 一般的なコンプライアンスの課題とその解決方法について議論する。
- The Linux Foundation オープン コンプライアンスプログラム (ツール、テンプレート、SPDX など) へのかかわりを促進する。

OCS は、オープンソース分野におけるコンプライアンスだけに焦点をあてた唯一のイベントです。

参加者が制限されているため、親密な会話ができ、ネットワーキングやコラボレーションも円滑に進みます。このサミットは、従来と同様、チャタムハウス ルールのもとで開催されます。



スポンサーになる意義

Open Compliance Summit を後援することで、オープンソース コンプライアンスに関する以下のような知識を共有できる素晴らしい機会が得られます。



アイデアや思想の
発信・共有



潜在的なパートナーや
顧客へのアピール



優秀な人材の登用



ブランド知名度の強化



製品・技術・サービスの紹介



価値ある関係の強化

コミュニティが参加する理由

以下のような取り組みを行い、オープンソースのリーガル コンプライアンスに関わる参加者間のコラボレーションを強化します。

- ベストプラクティスを交換する。
- The Linux Foundation Open Compliance Program (ツール、テンプレート、SPDX、OpenChain など) への参加を促進する。
- 「コンプライアンス プログラムの履行と管理」や「サプライチェーンを介したコンプライアンス管理」に関する認識を向上させる。
- 一般的なコンプライアンスの課題とその対処方法について議論する。

対象者:

- 弁護士
- コンプライアンス オフィサー
- プロダクト マネージャー
- エンジニアリング マネージャー
- プロセス マネージャー
- サプライチェーン プロフェッショナル

数字で見る Open Compliance Summit 2021:

122 登録者総数



参加者は
82
の組織から



21 の国から参加



登録者の 80% が過去のライブイベントにも参加

スピーカーの 20% と参加者の 25% が女性またはノンバイナリーを自認

100%

の回答者が、イベント
に参加したことは
貴重な時間だったと
感じています。

100%

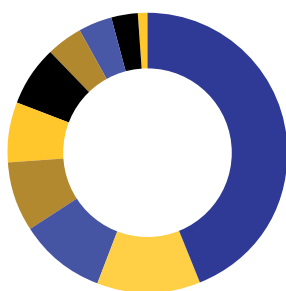
の回答者が、会議の
内容とセッションが
有益で有用であると
回答しています。

100%

の回答者が、友人
や同僚に Open
ComplianceSummit
への参加を勧め
ると答えています。

Open Compliance Summit 2021 参加者の統計データ

(このイベントはバーチャル開催されました)



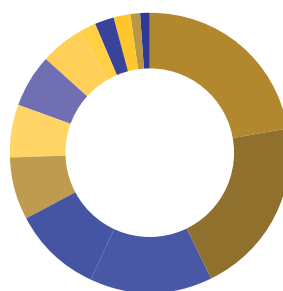
業種

- 情報技術 44%
- 非営利 12%
- 通信 10%
- 自動車 8%
- 工業製造および機械 7%
- プロフェッショナル サービス 7%
- 金融/銀行/保険 4%
- 医療 4%
- 生活必需品 3%
- エネルギー 1%



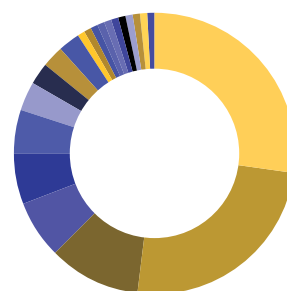
職務レベル

- マネージャー 31%
- 個人貢献者 27%
- その他 15%
- ディレクター 10%
- CXO / ED 7%
- VP / SVP / GM 7%
- 学術関係者 3%



職種

- マネージャー - OSPO 22%
- 法務/コンプライアンス 20%
- 経営陣 14%
- その他 10%
- マネージャー - その他 7%
- マネージャー - 技術チーム 6%
- アーキテクト 6%
- アプリケーション開発者(フロントエンド/バックエンド/モバイル/フル・スタック) 5%
- システム/組み込み開発者 2%
- IT運用 - DevOps 2%
- メディア/アナリスト 2%
- 教授/学術関連 2%
- カーネル/オペレーティングシステム開発者 1%
- マーケティング 1%



国

- アメリカ 27.23%
- 日本 24.79%
- ドイツ 10.74%
- オランダ 6.61%
- インド 5.79%
- イギリス 4.96%
- 韓国 3.31%
- カナダ 2.48%
- 中国 2.48%
- 台湾 2.48%
- オーストラリア 0.83%
- ベルギー 0.83%
- ブルガリア 0.83%
- フィンランド 0.83%
- フランス 0.83%
- イスラエル 0.83%
- イタリア 0.83%
- ルーマニア 0.83%
- スペイン 0.83%
- スウェーデン 0.83%
- スイス 0.83%

これまでのスポンサー

Open Compliance Summit に参加することで、さまざまな業界のあらゆる規模の企業が恩恵を受けています。

これまでのスポンサー:



スポンサーシップ概要

スポンサーシップのお申し込みについては sponsorships@linuxfoundation.org までお問い合わせください。

	ゴールド 4 枠	シルバー 4 枠	ブロンズ 制限なし
共有の会議室 (予約制)**: プライベートな会議に利用できます。	・		
講演の機会: 内容についてはPC とLFの承認が必要。(講演枠の残数に左右されます。)	10分間の基調 講演	5分間の基調 講演	
展示ブース**: テーブル1台とイス2脚が付きます。	・	・	・
イベント会場での看板、Webサイトで認知度アップ: イベントWebサイトで目立つスポンサーの企業ロゴ表示や、会場での看板設置。	・	・	・
イベント前のEメール マーケティングで認知度をアップ: 企業サイト URLにリンクを張ります。	・	・	・
カンファレンス招待券: 社員や顧客がカンファレンスにフルアクセスできる招待券です。	6	4	2
オープニング基調講演でスポンサーとして紹介: スポンサー名をご紹介します。	・	・	・
基調講演のステージでアピール: スポンサーの企業ロゴが大きくステージスクリーンやサイネージに表示されます。	・	・	・
お食事エリアのサイネージにスポンサーの企業ロゴを掲載	・		
スポンサーシップ料金	\$15,000	\$10,000	\$7,000

**COVID-19感染予防のための安全対策とソーシャル ディスタンスを保つなどの必要条件に従う。

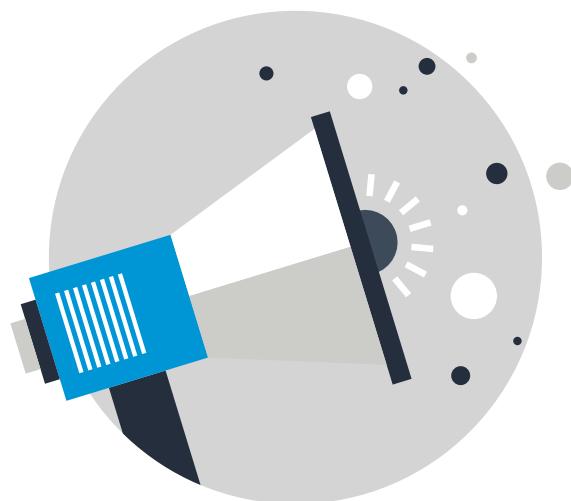
Open Compliance Summit 2022にぜひご参加ください!

2022年12月6日 | 横浜

スポンサーシップ バンドルとカスタム パッケージ

複数のイベントのスポンサーリングや、カスタム
スポンサー パッケージにご興味はありませんか?
バンドル スポンサーシップ パッケージ割引や、
カスタム パッケージ サービスを提供しています。

Linux Foundation企業メンバーには、Linux
Foundationイベントでスポンサーシップ割引が
適用されます。通常は5%割引、複数のイベントに
同時にサインアップすると7%割引になります。



スポンサーシップのお申し込みについては、
sponsorships@linuxfoundation.org までお問い合わせください。